

# 七中 図書館だより



令和7年4月  
第七中学校 学校図書館

桜の花の季節が終わり、青々とした若葉が美しいころとなりました。

新入生の皆さんは中学校生活に慣れてきたでしょうか？ちょっと一息つきたいときもぜひ、学校図書館へお待ちしております。

## 七中図書館 利用案内

**開館時間** 月～金曜日 10:30～16:15

貸出は昼休みと放課後です。昼休みは図書委員も担当します。  
カウンターへ、借りたい本と個人貸出カードをお持ちください。  
貸出の処理をして、返却期日のハンコを押します。



**貸出冊数** 3冊まで ランクアップ制度あり!!

長期休暇前の特別貸出もあります。

カードの名称を変更しました。入学してから借りた本の合計が

30冊でシルバーカード (貸出4冊まで)、

100冊でゴールドカード (5冊まで)、

**NEW!** 200冊でプラチナカード (6冊まで)にランクアップします。



**貸出期間** 2週間 (延長も可)

本を返す時は、お昼休みや放課後にカウンターまでお持ちください。

1階ブックポストも使えます。



本は大切に。皆が気持ちよく利用できるよう、破れたり雨に濡れたりしないように気を付けて扱いましょう。ご協力よろしく申し上げます。

## 4/25(金)～5/2(金) GW 特別貸出

いつもの冊数+3冊借りられます。返却は16日(金)まで。



# 学級文庫の使い方

各クラスの学級文庫は、図書委員が選んで学校図書館から貸出しています。朝読書の時間に自由に読めますが、毎回必ずボックスに戻してください。みんなの本です。大切に扱いましょう。



## イラスト 描いてみませんか？

毎年秋ごろに、中学校司書のおすすめ本リスト「ほんとのであい」を発行しています。その紙面に載せるイラストを、市内の中学生の皆さんから募集します。詳しいことは来月の図書館だよりを見てくださいね。

2024・秋

## ほんとのであい

本との・・・本当の・・・出逢い・・・本との・・・本当の・・・出逢い・・・本との・・・

神代中・ふくにに (ペンネーム)

**親のことが嫌いじゃないのに「なんかイヤだな」と思ったときに読む本** 146P

藤木美奈子/著 WAVE出版

親との日々の関わりで色々悩んだりすることは誰にもあるでしょう。この本は、そうしたときの対策として3つのステップを取り上げ、具体的な方法を示しています。親との関係で気になることがある時には、何かしら問題解決のヒントになるかもしれません。

**あした、弁当を作る。** 913ヒ

ひこ・田中/著 講談社

ぼくが玄關を出る時、いつも母は軽く背中を触れる。今日はソクッと寒気がした。昼休み、いつもの母の手作り弁当なのに、おなかは膨れなければ、気持ちの悪さは残った。この感傷は、成長期？ 反抗期？ 主人公の心の声に、一掃に揺らぐ。腹が立ったり、喜んでくれるお話。

**スマホアプリはなぜ無料？** 675マ

10代からのマーケティング入門 松本健太郎/著 河出書房新社

「スマホのアプリはどのようにして無料？」 「1万円のコース、高い？ 安い？」 こんな身近な問いから、「世の中の仕組み」を解説します。知らないで「大人いひい」ように丸め込まれて、損をして一生を過ごします。だって？！ 中学生でも消費者である以上、様々な知識が必要になります。さあ、マーケティングの世界へ飛び込もう！

**起業家フェリックスは12歳** 933ノ

アンドリュー・ノリス/著 千葉茂樹/訳 あすなろ書房

フェリックスが、絵の得意な親友モーカがデザインしたカードを作る。売ってほしいという人が増えた。次第に経理や営業に関する人員が必要になり、テッドとエリーも仲間に入り、さらにルーファス叔父さんに経営コンサルタントを依頼する。単にお金を儲けるだけではない、良いビジネスとは…？

## 「ほんとのであい」2024（一部）

**カラフル** 913ア

阿部暁子/著 集英社

高校入学式の朝、駅での事件をきっかけに出会った伊澄と幸いずユーザーの六花。高校では何も本気にならないと決めていた伊澄だが、いつも前を向き自分の力で困難に立ち向かうとする六花の姿に惹かれていく。これまでと違う視点を持ったことで、伊澄の日常が色鮮やかなものに変わっていく。

**3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話** 783ナ

中野吉之伴/著 理論社

「ホケツ」をどう思いますか？ 上手くなければ仕方ない？ サッカーが好きだけれど高校野球は補欠に終わった中野さんは、あるきっかけで、補欠が存在しないドイツの地域サッカーに魅せられ、指導者を志します。ドイツ語を学び、現地へ行って道を切り開き…「世界は自分で広げることができ」というメッセージが響いてくる。

**杉森くんを殺すには** 913ハ

長谷川まり子/作 くもん出版

「杉森くんを殺すことにしたわたしは、とりあえずミトさんに報告の電話を入れた」の冒頭に、まず引き込まれます。ミトさんは高1の女子ヒロ。杉森くんを殺す理由が順に明かされていくにつれ、ヒロの覆われている状況がだんだん明らかになってきます。ヒロの思いは、あなたの思いかもしれません。

**変わる日本語、それでも変わらない日本語** 810ニ

NHK調査でわかった日本語のいま 塩田雄大/著 世界文化社

「味あわせる」？ 「味あわせる」？ 「初老」は40歳から？ 「零覚」は辛いもの好き？ など、6つのトピックに分け、日本語の変化を考える本。何気なく使うことばでも、年齢や地域によって異なってくる。その違いを一目でわかるグラフつき。あなたの使うことばと比べてみよう。

**難民の？がわかる本** 34キ

木下理仁/著 太郎次郎社エディタス

20XX年の「茶髪禁止法」をきっかけに、ボクたち家族は身の危険を感じて国外に脱出した…。こんな物語が始まる本書では、そもそも難民とは？ 世界にはどのくらい難民がいる？ 日本にも難民は来ている？ などわかります。

※ 差別や迫害から逃れて日本に住む「クルド人」は約2000人。彼らの日本で暮らすしに「アサ」で書かれた『ぼくたちクルド人』もあわせて読むと、日本の難民政策の現状を知ることができます。

**13歳から考えるハンセン病問題** 498ジ

差別のない社会をつくる 江連恭弘 佐久間建/監修 かもがわ出版

あなたはハンセン病について、どのくらいのことを知っていますか？ 長い闘争者たちの人権を奪い続けた「らい予防法」が廃止されたのは1996年。まだそんなに昔のことではないのです。差別や偏見のない社会へ、まずは知ることが大切なのではないでしょうか。

**川滝少年のスケッチブック** 913コ

小手鞠るい/作 川瀬喜正/画 講談社

祖父が子ども時代を振り返って綴った絵日記。愛媛県宇和島の暮らしや子ども遊びを描いた漫画が楽しい。2冊目に描かれているのは「まじめな軍国少年」としての日々。戦争を生きた祖父の実体験と平和への思いが強く語られる。作者の父が描いた実在のスケッチブックをもとにした挿絵。